

- ☆実施方法：週1回、1時間程度、放課後に開催
- ☆対象の児童生徒：小学校5、6年生と中学校全学年の学力的に配慮を要する児童生徒
- ☆学習支援体制：学年2名と伊都塾担当の教師又該当する児童生徒の担任を含めて4～5名で支援にあたります
- ☆期待される効果：授業において学習内容が理解できず自信をなくしたり、意欲がなくなっている児童生徒を支援し、全体として落ちこぼれ防止やレベルアップにつながる事を期待するものです。



あとがき

前原市の財産、宝ものの一つとして静かできれいな自然環境・田園風景と新鮮な農・海産物の生産基地だとするのに異論はないと思います。これら宝ものの生みの親、育ての親とも言える大切な川が泣いているように思われます。この川を大事に守ることで前原市の宝ものを次の世代に引き継いでいくことができるのではないのでしょうか。

川へのポイ捨ては勿論いけません。川の浄化活動があちらこちらで実施されています。それらの活動に積極的に参加して、大切な宝ものである自然環境と田園風景を守り続けて行きましょう！

用語解説

- ※1 **イントラネット**…企業内ネットワークといったりもします。限定された地域でコンピューターネットワークを構築し、その区域限定の情報共有システムをネット化することで、利用するインターネット技術を低コストでかつ独立性を高めながら利用できるシステムのこと。
- ※2 **投資的経費**…公共工事等にあてられ、社会資本の整備に要する経費のこと。

元気な前原・住みたい前原にするために、皆様のご意見、ご要望をお聞かせください。

小島忠義事務所

〒819-1112 福岡県前原市浦志二丁目5-20

TEL(092)322-0155

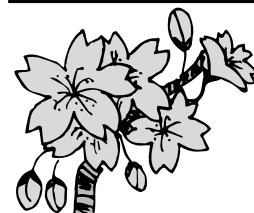
FAX(092)322-4900

E-mail:kojima-tadayoshi@iwa.bbq.jp

小島忠義の “かけ橋”

議会通信

Vol.10



新年度のスタートには 桜が良く似合います

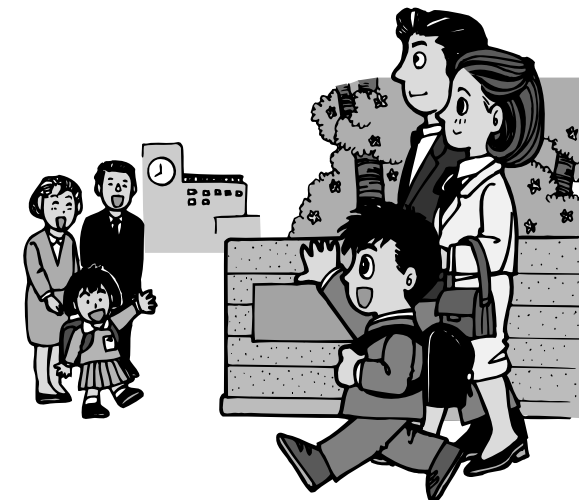
ところが最近はずいぶん様子が変わってきました。福岡では全国で一番早い開花が3月13日に発表されました。これまで入学式には桜が文字どおり花を添えていましたが、今年は葉桜になりそうです。これも地球温暖化のせいでしょうか。

100年に一度の危機といわれる今日の経済状況の中でこれを打開し、回復させるには政治が力強くリードするしかないと思います。

政府も2009年度予算成立後、素早く景気浮揚策のための追加経済対策として補正予算の準備に取りかかりました。

定額給付金の支給や高速道路の1,000円乗り放題等の施策が実行に移され、これにより消費が上向き、景気回復の下支えになればとのねらいですが、まだまだ不透明感は否めません。

前原市も新年度予算にいろいろな新規メニューを取り入れ元気な前原、住みたいと思える前原を目指しています。



H21年度予算の特徴

前原市としては最後となる予算が議会で可決されました。
特徴としては、

- (1) 歳入面では市税収入が不景気による税収減（前年度比-1.5%）になるものの、合併に対する国からの措置として地方交付税が増額されます。又前原市も景気対策費として貯金に相当する基金の取り壊しや市債発行により前年対比+8.9%、約16億増額の約196億の一般会計予算としてスタートします。